

| | | |
|-----|----|-----------------|
| 章 | 1 | 健康でおもいやりのあるまち |
| 大項目 | 02 | 地域とともに育む福祉社会づくり |
| 施策 | 04 | 子育て支援の推進 |

目的

子育て支援サービスの質・量の充実を図るとともに子育て家庭のニーズを捉えた使いやすいサービスの実現を目指します。
 子育て家庭を地域で支えあうための機会や場の充実を図ります。

対象・手段

対象：子ども・子育て家庭・子育て支援に関係する区民・事業者等
 手段： 子育て支援サービスの内容・提供方法の多様化を促進します。
 子育て支援サービスの総合化と各種サービスの提供主体のより一層の連携を進めます。

施策の方向

すべての子育て家庭が、心にゆとりを持って子育てを楽しむことができるように、多様できめ細やかな支援を行っていきます。
 現代の多様な生活スタイルに対応した保育等のサービスの充実を図っていきます。
 子育てを支援するため、保健・医療、福祉、教育等の連携を強化し、相談・指導を始めとした支援体制の充実を図ります。

基本計画(平成10～19年度)の目標達成状況

| 指標名 | A 基準値 | B 目標値 | C 達成値 | D 達成状況 |
|------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------|
| 子育てひろば事業実施 | (平成10年度) 5.2万人 | (平成19年度) 2.2万人 | (平成19年度) 1.2万人 | 133% |

指標名の定義：人口(万) / ひろば実施施設数

成果指標

| 指標名 | 定義 | 目標水準 | | | | |
|--------------------|---|----------|-----------|-----------|-----------|--|
| 保育園の待機児童解消数 | 平成15年度4月待機児童数(89人)を基準とした当該年度における待機児童解消数 | (平成19年度) | 年度に | (待機児0人) | の水準達成 | |
| 総合相談の充実 | 子ども家庭総合相談の件数(年間) | (平成19年度) | 年度に | (10,000件) | の水準達成 | |
| 幼稚園と保育園の連携・一元化の箇所数 | 幼稚園と保育園の連携・一元化の実施 | (平成19年度) | 年度に | (2か所) | の水準達成 | |
| 施策の達成状況 | | | | | | |
| | 単 位 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 備 考 | |
| 施策 成果 指標 | 目標値1 | 人 | 89.00 | 89.00 | 89.00 | |
| | 実績1 | 人 | 54.00 | 57.00 | 63.00 | |
| | 目標達成率1 = / | % | 60.67 | 64.04 | 70.79 | |
| | 目標値2 | 件 | 10,000.00 | 10,000.00 | 10,000.00 | |
| | 実績2 | 件 | 4,965.00 | 6,206.00 | 9,250.00 | |
| | 目標達成率2 = / | % | 49.65 | 62.06 | 92.50 | |
| | 目標値3 | 箇所 | 2.00 | 2.00 | 2.00 | |
| | 実績3 | 箇所 | 1.00 | 2.00 | 2.00 | |
| | 目標達成率3 = / | % | 50.00 | 100.00 | 100.00 | |

主な取組み

保育園の待機児の解消(待機児童数 26人 19年4月現在)
 幼稚園と保育園の連携・一元化(愛日幼稚園・中町保育園の合同保育 四谷子ども園の開設)
 子育て相談の充実(保健センターの育児相談 107回実施 1380名参加)
 在宅子育て支援の充実(ファミリーサポート事業 利用件数20,080件 ショートステイ協力家庭登録12世帯)
 児童館機能の強化と学童クラブ事業の多様化(戸山学校内学童クラブ開設 民間学童クラブ1所増)
 子ども家庭サポートネットワークの強化(サポートチーム会議59回開催)

課題

子育て支援サービスの内容・提供方法については、必要としている人が利用しやすいよう、常に工夫をしながら充実を図っていくことが課題です。
 また、関係機関の連携及びNPOや民間事業者など、多様な主体との協働による実施を引き続き推進していくことも課題です。

| 総合評価 | |
|---|---|
| <p>概ね計画どおり保育園の待機児解消、相談件数の増加、幼稚園と保育園の連携・一元化施設を開設したため、総合評価をBとします。</p> <p>サービスの負担と担い手 サービスは、税負担により実施していますが、保育等のサービスについては保護者負担を導入しています。今後、運営費における適正な税負担についての検討が必要なものも考えます。担い手は行政のみでなく、多様な主体が様々な区民ニーズに応える体制を整えています。</p> <p>適切な目標設定 待機児童の解消、相談の充実、幼稚園と保育園との連携・一元化など、区民ニーズに対して適切な目標設定になっています。</p> <p>効果的・効率的な視点 施策の実施は、区と様々な事業主体で行なうことにより、量や質の拡大が可能となり、保育時間の延長・緊急時の受入れなど効果的・効率的に行なわれています。</p> <p>目的の達成度 目標を達成できなかったものもありますが、その事業についても18年度に比べ達成率は上がりました。全体として、実施計画に基づき子育て支援サービスの質・量の充実と統合化が進みました。</p> | B |

今後の取組み・改革の方針

今後も、社会状況や保護者の意識の変化などを踏まえつつ、子どもの幸せの実現と自立を視点にした施策を推進していきます。
 また、関係機関が常に連携しながら、効果的な実施体制を構築していきます。
 この施策は、新宿区総合計画の基本施策「² 地域において子どもが育つ場の整備・充実」と「² 地域で安心して子育てができるしくみづくり」に引き継いで取り組んでいきます。

施策を構成する計画事業

| | 総合評価 | 頁 | | 総合評価 | 頁 |
|----------------------|------|----|----------------|------|----|
| 待機児童の解消 | B | 36 | 幼稚園と保育園の連携・一元化 | B | 50 |
| 子育て相談の充実 | B | 38 | 新宿区児童手当 | B | 52 |
| 絵本でふれあう子育て支援 | B | 40 | 子ども医療費助成 | B | 54 |
| 在宅子育て支援サービスの充実 | B | 42 | | | |
| 子ども家庭支援センター機能の強化 | B | 44 | | | |
| 乳幼児親子の居場所づくり | B | 46 | | | |
| 児童館機能の強化と学童クラブ事業の多様化 | B | 48 | | | |